

11.3 サービス部品需要予測

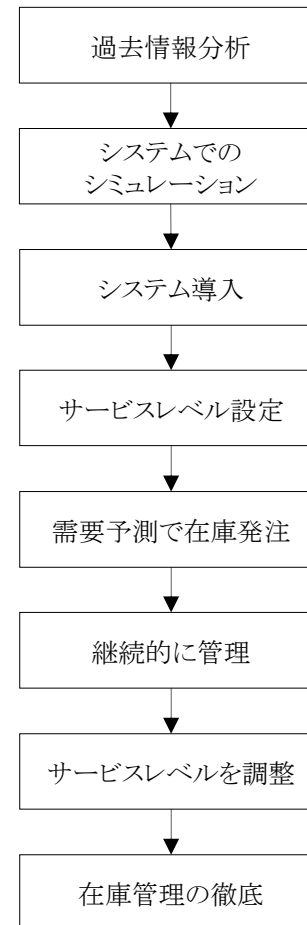
流れ品と異なって、サービス品の需要予測は難しく、在庫状況を見ながらサービスレベルとのバランスで在庫管理へつなぐようにする方法が提案されています。

ここで「サービスレベル」とは予測の誤差の幅を考慮した予測値です。例えば、90%のサービスレベルは、90%の確率でその範囲内の値になると予測される数量となります。

ただサービス部品管理は、多品種で少量の部品の管理になるので、現品管理を特に徹底し、情物一致の管理を徹底してください。

実際の予測ツールは、様々なものがありますが、サービス品のような、間欠需要予測機能を備えていないものもあるので、システム選定時に注意してください。(4.4参照)

展開ステップ



間欠的な・不規則な需要傾向を持つ製品アイテムに対しては、確率統計学的に一定期間内の総需要量(=基準在庫量)をシミュレーションして求めていきます。

